令和８年度「全学 FD の日」の実施について

【期　日】令和８年９月 25 日（金）9：30～11：25
【場　所】Zoom を用いたライブ配信（後日、オンデマンド配信を予定）
【テーマ】学生満足度と質保証の両立を図るために
【趣　旨】

昨今、学生の多様なニーズへの対応や学修成果の可視化が求められる中、「学生満足度の向上」と「教育の質保証」をいかに両立させるかが重要な課題となっています。また、学生の学びや成長を支える取組については、各部局・各授業担当教員の実践に委ねられる部分も多く、全学的な共有と相互理解の深化が求められています。

こうした状況を踏まえ、本年度の「全学 FD の日」においては、「学生満足度と質保証の両立を図るために」をテーマとし、学内における具体的な取組事例を共有するとともに、学生の満足度向上と教育の質の担保を両立するための方策について理解を深める機会とします。

当日は、本テーマに関連する学内での実践例について、３名の先生方よりご紹介いただきます。これらの講演を通じて、学生の真の成長を促すために、教職員一人ひとりが果たすべき役割について改めて考え、今後の教育活動の一層の充実につなげる契機となることを期待します。

【全学シンポジウム】

9:30 ～ 9:35　学長挨拶（5 分）

9:35 ～ 9:40　趣旨説明（5 分）
・司会：教育改善・質保証 WG 座長　金野　尚武　准教授

9:40 ～ 10:40　各学部等からの実例紹介（各 20 分）

①データサイエンス経営学部　土屋　翔　准教授
「学生満足度はいつ測るべきか
―『社会実装基礎演習２』における教育の質保証と PM シートの活用―」
（担当授業：社会実装基礎演習２）

②地域デザイン科学部　鈴木　富之　准教授
「『地域プロジェクト演習』における教育実践とその進化」
（担当授業：地域プロジェクト演習）

③工学部　大庭　亨　教授
「生命人間科学・感性科学入門における取り組みや工夫について」
（担当授業：生命人間科学、感性科学入門）

10:40 ～ 10:50　休憩（10 分）

10:50 ～ 11:20　パネルディスカッション（質疑応答を含む）（30 分）

11:20 ～ 11:25　総括コメント（５分）
・理事（学務・情報・総務・財務担当）・副学長　横田　和隆

【学部等の取組】

例年どおり、同日午後、または別日程にて個別 FD を実施する（テーマは自由）。

（別紙）

令和８年度「全学 FD の日」個別 FD 活動企画

○データサイエンス経営学部

日　時　令和８年 10 月 27 日（火）13：00～14：30
場　所　峰キャンパス 5 号館 1 階会議室
テーマ　社会実装系科目における留意点について
内　容
　２、３年次を対象とする社会実装系科目について、実施済みの科目についてこれまでの成果と課題を学部全体で情報共有するとともに、今年度初めて実施する科目について開催時の状況をもとに、今後について意見交換を行う。

○地域デザイン科学部

日　時　令和８年９月 29 日（火）16:00～17:00（教授会終了後に実施）
場　所　陽東キャンパス８号館 825 教室
テーマ　卒業研究における生成 AI の利用について
内　容
　卒業研究における生成 AI の利用について、各学科で学生が留意すべき点や、ルールとして制限すべき点を整理・検討し、学部で共有する。

○国際学部

日　時　令和８年９月 29 日（火）教授会終了後　定例 FD 研究会
（通常 15:30～16:00 の間に開始）
※ただし、喫緊に検討すべき課題が出て、9 月の FD 研究会で扱う必要がある場合は、個別 FD は 10 月 27 日（火）教授会終了後に延期する。

場　所　峰キャンパス　国際学部大会議室（5 号館 A 棟 4 階）
テーマ　PBL(Project-based Learning)を取り入れた授業の実践例について
内　容
　全学 FD の日における全学シンポジウムで、3 学部より PBL 授業の実例が報告される予定である。それと関連させて、学部内で PBL 授業の実践例を 2 件関連教員に報告していただき、実施内容や成果、課題等について検討する。PBL は伝統的に医学系や工学系で採用されてきた方法であるが、人文社会系の分野でも実践可能であることや一定の成果を挙げていることなどを共有し、今後の授業改善に活かしていく。

○共同教育学部

日　時　令和８年 10 月 27 日（火）
場　所　峰キャンパス共同教育学部８号館 A 棟 2 階大会議室
テーマ　（仮）共同教育学部の新カリキュラムの現状と課題
内　容
　令和６年度入学生から適用している新カリキュラム（卒業単位 140 単位）について、教育の質保証という観点での成果と課題を学部全体で情報共有する。それを踏まえて、今後の方策について意見交換を行う。

○工学部

日　時　令和８年９月 29 日（火）14:30～（教授会終了後）

場　所　オンライン(Zoom または Teams)

テーマ　「高等教育機関におけるクレーム・カスタマーハラスメントの実例と対策（仮題）」
　　講師：株式会社フォーブレーン

内　容

大学入試の多様化による学生の多様化に関連して、学生や保護者からの教職員に対するクレームや不当なクレーム（カスタマーハラスメント）の増加が予想されます。これとは別に、LRT 開業などで陽東キャンパス周辺の宅地化が進行することにより増加が見込まれるキャンパス周辺住民からの大学活動、学生活動に対する正当・不当なクレームの増加も予想されます。このような多種多様なクレーム・カスタマーハラスメントに対して教職員が個別に対応するのには限界があり、組織的な対応が必要と考えます。

今年度の工学部個別 FD 活動では、上記の問題の解決と良好な教育研究環境の維持を目指して、本学教職員のハラスメント研修を担っている（株）フォーブレーンに依頼し、大学などの高等教育機関におけるクレーム・カスタマーハラスメントの実例と実践的な対応例についてのオンライン講演と質疑応答を行います。

○農学部

日　時　令和８年 10 月 27 日（火）14：00～15：30

場　所　峰キャンパス　農学部大会議室

テーマ　新学科体制における学部共通科目について
　　―「フィールド実践演習Ⅱ」の実施に向けたコース間連携と課題共有―

内　容

2026 年 4 月にスタートした新学科体制は、発足から半年が経過した。昨年度の農学部 FD にて共有された新学科の構想に基づき、本年度より新 1 年生を対象とした新たな授業科目が順次開講されているが、現時点では概ね円滑に実施されている。次年度に新学科体制が 2 年目を迎えるにあたり、新たに開講される 2 年生向け学部共通科目「フィールド実践演習Ⅱ」の実施準備が喫緊の課題となる。同科目は学科・コースを横断する内容を含むため、教員間での緊密な情報共有や調整が不可欠である。そこで「フィールド実践演習Ⅱ」に焦点をあて、その円滑で効果的な実施に向けて議論する。具体的には、各コース担当者から各コースで取り組む内容などについて説明を行って頂きつつ、コース間での共通課題や調整が必要なことについて議論し、次年度の円滑な実施に向けた準備を行う。